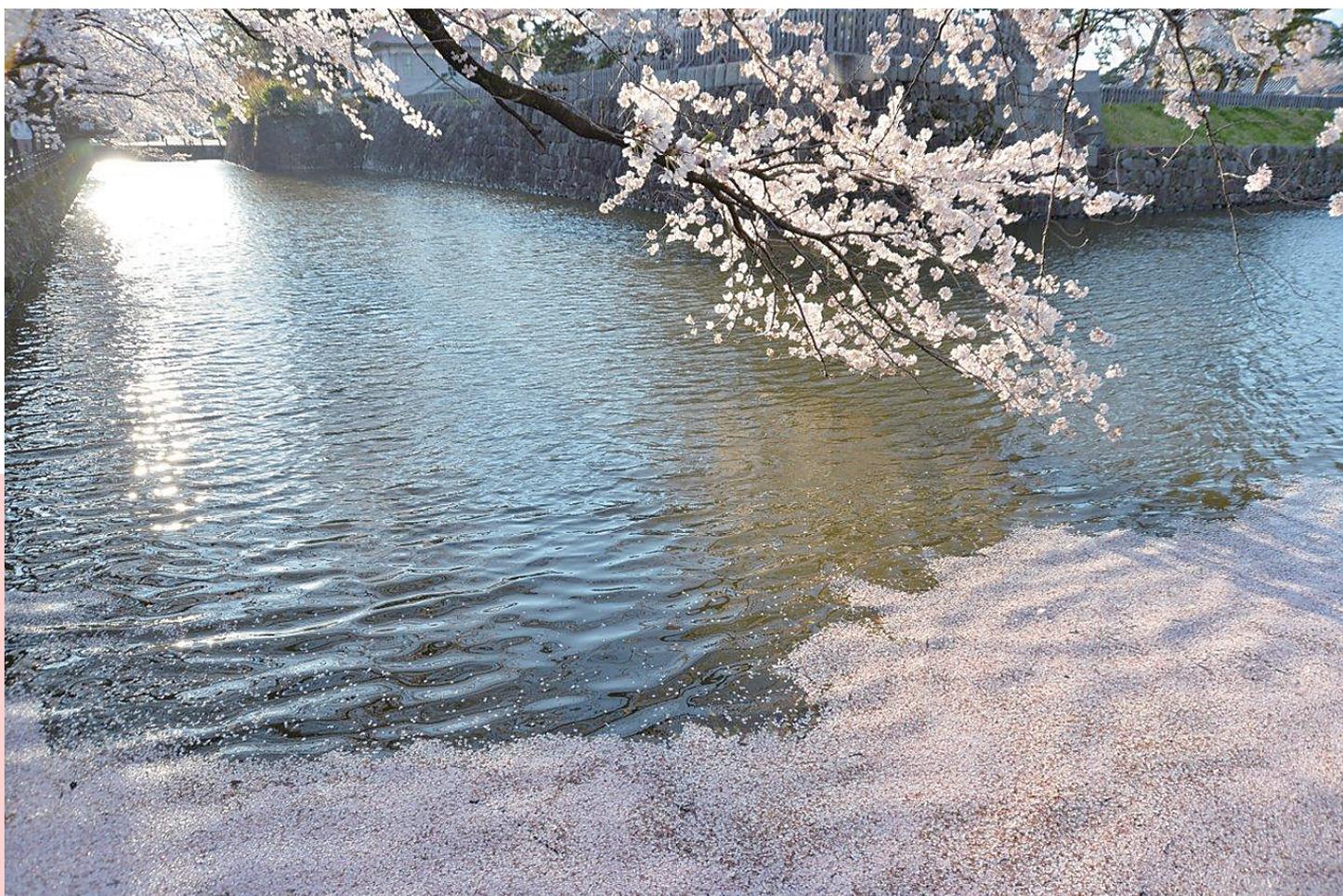


No.212

KANTOU

かんとう



特集／新春インタビュー：日本紙類輸入組合理事長 寺垣 毅氏に聞く
「2021年の紙類貿易を展望する 古紙、段原紙ともアジア向け
供給国としての重みが増す日本」

春号

発行 関東製紙原料直納商工組合
2021.4.20 発行人 大久保信隆／編集人 斎藤大介

東京都台東区東上野1-17-4 坂田ビル
電話 03(3833)4105(代) <http://www.kantoushoso.com>

全国小中学生 紙リサイクルコンテスト 2020

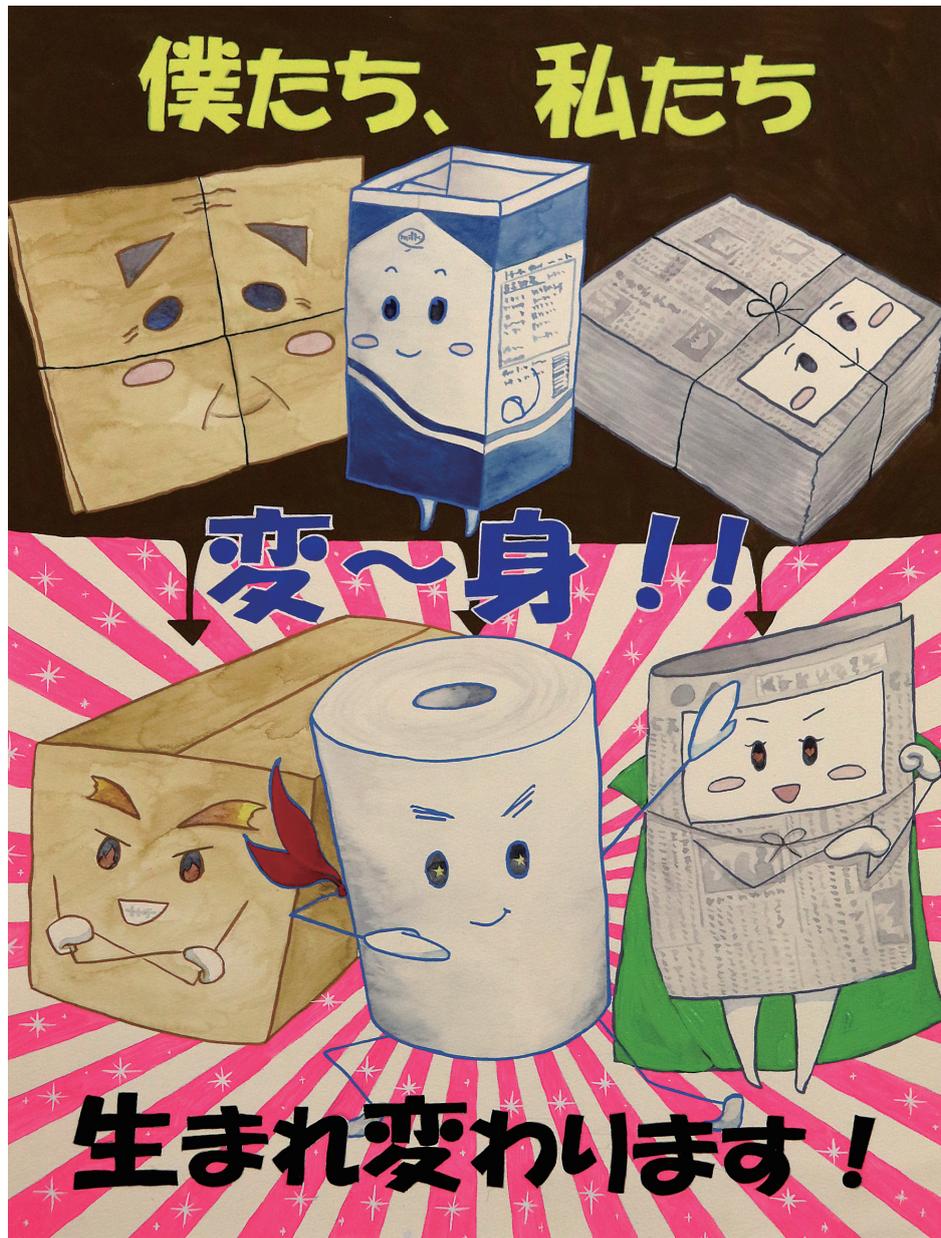


文部科学大臣賞 ポスター部門

佐世保市立日宇中学校 1年

狩集 百葉

変~身!!



巻頭言

ひな祭りを過ぎ上野の山まで歩いていると不忍の梅の花が満開で、白い花びらが散ってきている中、一都三県「緊急事態宣言」が2週間再度延長となりました。

世界中が新型コロナウイルスの感染爆発（パンデミック）に直面しています。百年に一度と言われる状況で大変な社会不安になっています。この「未知との遭遇」にどう

しているのか困っています。早くワクチンを接種しようと思っていますが直ぐに接種できるだけの絶対量がありません。ではどうするか、自分で考えなくてはなりません。ない頭をどう使うかスマホに聞いてもわかりません。

原点に戻って調べていくしかないと思い「ウイルスとはどういうものなのか」全然わかっていないので調べてみました。ウイルスというのは、遺伝情報は持っているけれど自分ではタンパク質が作れないそうです。だから他の生物の体に入らないとウイルスを増やすことが出来ないそうです。今回中国武漢市で人間が手を入れたか、偶然か感染爆発が起こったと思います。

専門家によるとコロナウイルスのスパイクと我々人間の細胞表面にあるエース2というタンパク質が偶然にあってしまったそうです。ウイルスは生物ではないそうです。ですから変異するそうです。人間である宿主が死んでしまうと自分が増殖出来ないのです、ドンドン変異していきます。だから感染スピードが早いと思います。遺伝子の情報を変えていくので始末が悪く、絶滅するのは容易でないと思います。

今後もウィズコロナで付き合っていくことになりますが、マスクと手洗い、ソーシャルディ

「新年度に向かって見えない敵コロナとの戦い」

関東製紙原料直納商工組合
理事長
大久保信隆

スタンスが必要です。特にウイルスは私達の細胞から出て来るそうです。私達の細胞膜をまとっているのです。

脂は石鹼に弱いので石鹼で洗うことによってコロナを不活化できるそうです。必ず回収や仕事が終わった後は「石鹼で手を洗って」ください。とにかく基本を励行してください。

それともう一つの大事な想

いは東日本大地震と津波の10年目を迎えた事です。2月に起きた地震はその余震だそうです。テレビを見るたび、この自然の凄まじさは「恐ろしい」の一言です。余震はあと20年も続くと言われています。

このたび被害を受けた日本製紙の岩沼工場にお見舞い申し上げます。この場をお借りして早く復旧されることを心より願っております。また、我々も協力は惜しみませんのでお申し付けください。

日本製紙連合会の発表によれば今年も紙の生産は減る見通しです。中国は固形廃棄物の古紙は買いません。だが東南アジア諸国には沢山の需要があり、今のところ古紙市況はバランスが取れて安定しています。

不確実なことがたくさんあると思います。紙生産が減る以上、必ず古紙の市中回収量は少なくなります。無駄な競争は慎んでコロナと同じく（車間）距離をとり適正で安定する事業に行きましょう。

最後に世界中からコロナパンデミックの終息を祈念申し上げます。我慢、我慢の一年です。頑張りましょう。

(2021.3.8記)

関東商組理事会報告

令和2年度 第8回 理事会報告

開催：令和2年12月23日(水)
 15時～16時30分
 ホテルラングウッド 2階 孔雀の間
 出席状況：出席…19名(理事18名、監事1名)

1. 古紙持ち去り関係
 - (1) GPS 追跡調査実施状況
 実施なし(11月理事会から本理事会の間)

2. 各支部市況報告

| | | 前月末在庫状況 | 特記事項 |
|--------|------|---------|---------------------|
| 東京都 | 東支部 | なし | |
| | 西支部 | ランニング | |
| | 多摩支部 | ランニング | |
| 神奈川県支部 | 東部 | ランニング | 12/17 役員会、忘年会、新年会中止 |
| | 西部 | | |
| 千葉県支部 | | ランニング | |
| 埼玉県支部 | 京浜 | ランニング | |
| | 北部 | | |
| 群馬県支部 | | ランニング | |
| 茨城県支部 | | ランニング | 2/17 Zoomにて開催予定 |
| 栃木県支部 | | ランニング | |

3. 段ボール古紙需給調整事業の実施状況
 台湾向けのみ実施、引き続きの協力をお願いした。
4. 組合員名簿の作成
 名簿の作成が承認された。原稿依頼を年内

に発送を行う。
 データの確認、記載をして期限内の返信をお願いします。
 来年4月初旬を配布予定として作成を進める。

5. 各会議報告

- (1) 総務財務委員会(12月16日開催)
 収入先行だが、事業縮小による賦課金の減額を行うため年度末にかけて注視をする。
- (2) 正副理事長会(12月16日開催)
- (3) 総合運営委員会(12月16日開催)

6. 近代化推進委員会報告

- (1) 経営革新委員会(12月11日開催)
 来年の業界環境や需給環境について検討した。
 回収元、排出元を配布対象にした品質に関する啓蒙ポスター等を作成予定。
- (2) 安全防災委員会
 1/27 開催予定。
- (3) 需給委員会(12月21日開催)
 国際マーケット調査事業1月分は調査対象外とした。
- (4) 渉外広報・IT委員会
 ・IT活用部会(12月10日開催)
 HPリニューアルに向けての基本方針を確認した。

| | | |
|----|------------------------------------|--|
| 目次 | 巻頭言…………… 1 | 三紙会 Tweet…………… 15 |
| | 関東商組理事会報告…………… 2 | 編集後記…………… 16 |
| | 三紙会定例会報告…………… 5 | |
| | 新春インタビュー 2021年の紙類貿易を展望する…………… 9 | |
| | | 【表紙写真】 桜が散るのは一瞬の間です。一年の春先に一度、必ず開花して花吹雪になって、見に来る人を感傷にひたらせています。来年、また咲いたら見に来て下さいと。疫病も散ります。明るい季節を待つ、小田原のお堀端。 渉外広報・IT委員会 須長 利行 |

- ・かんとく編集部会 (12月10日開催)
新年号を校正中。春号の企画を検討した。

7. 三紙会報告 (12月17日開催)

| | 11月 | |
|------|-------|-------|
| | 前月比 | 前年比 |
| 段ボール | 94.3% | 96.0% |
| 新聞 | 99.4% | 89.5% |
| 雑誌 | 94.6% | 90.5% |

令和2年度 第9回 理事会報告

開催：令和3年1月20日(水)
15時～16時30分
ホテルラングウッド 2階 孔雀の間
出席状況：出席…25名 (理事23名、監事2名)

1. 古紙持ち去り関係

- (1) GPS 追跡調査実施状況
実施なし (12月理事会から本理事会の間)

2. 各支部市況報告

| | | 前月末在庫状況 | 特記事項 |
|--------|------|---------|----------|
| 東京都 | 東支部 | | |
| | 西支部 | | |
| | 多摩支部 | ランニング | |
| 神奈川県支部 | 東部 | ランニング | |
| | 西部 | | |
| 千葉県支部 | | 段ボール多い | |
| 埼玉県支部 | 京浜 | 段ボール多い | |
| | 北部 | | |
| 群馬県支部 | | ランニング | |
| 茨城県支部 | | 段ボール増加 | 2/17 支部会 |
| 栃木県支部 | | ランニング | |

3. 段ボール古紙需給調整事業の実施状況

1～3月は台湾向けのみ実施、引き続きの協力をお願いした。

4. 新型コロナウイルス感染症関係

- (1) 影響度調査 (第2回)
昨年9月に行ったアンケートの2回目の調査を実施することが承認され、協力をお願いした。
- (2) 発生状況調べ
感染拡大防止に向けての情報共有のため、

発生した場合の状況についてお知らせいただくようお願いし、「随時発生日時、発生場所 (都県名)、感染者数、管轄保健所による主な措置内容」をHPの組合員専用ページに掲出することになった。

また、組合員相互の協力体制についても協力をお願いした。

5. 各会議報告

- (1) 総務財務委員会
- (2) 正副理事長会
- (3) 総合運営委員会

6. 近代化推進委員会報告

- (1) 経営革新委員会 (1月12日開催)
年末年始の発生状況、在庫状況を確認した。
品質に関する啓蒙ポスターについてデザインを検討していく。
コロナ禍において古紙リサイクルアドバイザー試験について試験運営を見直ししていく。

(2) 安全防災委員会

安全ポスター、リーフレットは例年通り作成予定。

(3) 需給委員会

12月理事会から本理事会の間に開催なし。

(4) 渉外広報・IT委員会

- ・IT活用部会 (1月14日開催)
HPリニューアルに向けてのトップページの見本を確認した。
掲載するコンテンツを再検討した。

- ・かんとく編集部会 (1月14日開催)
春号の特集記事の検討を行った。

7. 三紙会報告 (速報値)

| | 12月 | |
|------|--------|--------|
| | 前月比 | 前年比 |
| 段ボール | 117.3% | 101.3% |
| 新聞 | 110.1% | 92.4% |
| 雑誌 | 122.0% | 95.5% |

令和2年度 第10回 理事会報告

開催：令和3年2月25日(木)

15時～16時30分

古紙再生促進センター

出席状況：出席…23名(理事21名、監事2名)

1. 古紙持ち去り関係

(1) GPS 追跡調査実施状況

実施なし(1月理事会から本理事会の間)

(2) 令和3年度GPS追跡調査に関する方針

現状の運用方法にて引き続き実施する。

なお、持ち去り禁止法令の制定・施行後は方針を再検討する。

2. 各支部市況報告

| | | 前月末在庫状況 | 特記事項 |
|--------|------|---------|------|
| 東京都 | 東支部 | なし | |
| | 西支部 | ランニング | |
| | 多摩支部 | ランニング | |
| 神奈川県支部 | 東部 | ランニング | |
| | 西部 | | |
| 千葉県支部 | | 減少 | |
| 埼玉県支部 | 京浜 | 減少 | |
| | 北部 | | |
| 群馬県支部 | | 非常に少ない | |
| 茨城県支部 | | ランニング | |
| 栃木県支部 | | ランニング | |

3. 段ボール古紙需給調整事業の実施状況及び令和3年度の対応方針

1～3月は台湾向けのみ実施。

令和3年度の方針：

- ・台湾向けは継続して実行する。
- ・マレーシア向け及び国内向けは実施の方向で申し入れている。

4. 新型コロナウイルス感染症関係

(1) 影響度調査(第2回)

88社から回答を得た。今後も半年に1回程アンケートを実施していきたい。

仕入量、出荷量、在庫量ともにこれからも減っていくと考えている方が多数。

詳しい結果は広報誌やHPに掲載予定。

5. 第28回TAMAとことん討論会に対する協賛例年と同じく協賛することが承認された。(1万円)

6. 各会議報告

(1) 総務財務委員会(2月15日開催)

収入、支出ともに例年より低位で推移している。

(2) 正副理事長会(2月15日開催)

(3) 総合運営委員会(2月15日開催)

7. 近代化推進委員会報告

(1) 経営革新委員会(2月10日開催)

1月の段ボール原紙速報、古紙需給見通しを確認して意見を交換した。

利幅経営、車間経営のキャッチフレーズを検討した。

品質リーフレットはサンプルを元に作成を検討中。

(2) 安全防災委員会(1月27日開催)

安全ポスター、リーフレットは例年通り作成。

(3) 需給委員会(1月27日・2月24日開催)

国際マーケット調査事業3月分段ボールのみ実施。

古紙の世界需給から国内需給を検討するために世界需給を調査する部会を来期に立ち上げる予定。

(4) 渉外広報・IT委員会

・IT活用部会 HPリニューアルに向けて見積をつめている。

・かんとう編集部会 春号作成中。

8. 三紙会報告(速報値)

| | 1月 | |
|------|-------|-------|
| | 前月比 | 前年比 |
| 段ボール | 84.8% | 99.1% |
| 新聞 | 83.9% | 88.1% |
| 雑誌 | 85.0% | 89.9% |

三 紙 会 報 告

12 月 度 定 例 会

日 時：令和2年12月17日(木)
 15時30分～17時00分
 場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室
 幹 事：福浦 秀樹・(株)大久保
 足立 進・王子齋藤紙業(株)
 報告者：足立 進・王子齋藤紙業(株)

【令和2年11月

裾物主要三品仕入実績報告 (35社)】

[段ボール] 前月比 94.3% 前年比 96.0%
 [新聞] 前月比 99.4% 前年比 89.5%
 [雑誌] 前月比 94.6% 前年比 90.5%
 [総括] コロナ禍で、テレワーク化によるオフィスからの排出減少や集団回収の見送り等の要因もあり発生は低調。

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

〈平均単価〉段ボール…6.15円、新聞…8.24円、
 雑誌…2.96円

[総括] 発生低調が続く中、数量確保に苦慮している。値動きについて各地区様子見合でほぼ動きなし。

【各委員会活動報告】

●業務委員会

(1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 690 前月比 +10

[LBKP] \$ 価格 500～560 前月比 +20

[市況動向]

〈NBKP〉10月に続き11月も供給タイトな状況が続いているため、サプライヤーは主要マーケットにおいて値上げを発表。欧米地域のユーザーは値上げに反発をしたものの、他の地

域よりパルプ需要が進んでいる中国では値上げが受け入れられた模様。結果として11月価格は欧米向けについては前月比概ね横ばい、中国向けについては\$20～\$30程度の値上げで決着した。日本向け11月積価格については、中国マーケットの動向を反映し\$10アップにて決着。12月においても需給バランスは中国マーケットを中心にタイトな状態が続くと見られており、サプライヤーはもう一段の値上げを実施する見込み。

〈LBKP〉NBKPの値上げトレンドに乗じて、LBKPサプライヤーも主要マーケットにおいて11月価格の値上げを発表。ユーザーは当初値上げに対して冷ややかな反応を取ったが、インドネシアサプライヤーが設備メンテナンス等で減産することを発表し、需給バランスが引き締められることとなった。この結果、11月価格は欧米向けについては、一部ユーザーが\$20程度の値上げ、価格を据え置いたサプライヤーについても12月積みで値上げが実施される見込みとなっている。

(2) 上物市況報告

[白板向け] コロナ起因による経済活動の鈍化で、大きく長い低迷が続いている。復調の兆しも見えず、先行き不安。

[家庭紙向け] 産業古紙・オフィス古紙・機密古紙ともに発生減が続く、徐々にタイト感が出ているものの、相変わらず生産は良くなく、また洋紙系古紙の流入もあり、強いタイト感とまではいかない。

[総括] コロナショックが続いており、年末年始に向けた需要も期待できない。

●研究委員会：新聞・チラシ重量調査の依頼

●財務委員会：特に無し

●広報委員会：特に無し

●その他：特に無し

次回の三紙会は【1月22日(金)15時30分～】とする。活動内容の予定は以下の通り。

○裾物三品仕入平均単価報告

- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会活動報告

1 月 度 定 例 会

幹 事：佐々木 健・栗原紙材(株)

報告者：井出 一之・井出紙業(株)

※令和3年1月22日(金)開催予定でしたが、緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、資料配布のみ

【令和2年12月

裾物主要三品仕入実績報告 (35社)】

| | | | | |
|--------|-----|--------|-----|--------|
| [段ボール] | 前月比 | 117.3% | 前年比 | 101.3% |
| [新聞] | 前月比 | 110.1% | 前年比 | 92.4% |
| [雑誌] | 前月比 | 122.0% | 前年比 | 94.8% |

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

平均単価：段ボール…6.11円、新聞…8.07円、雑誌…2.94円

【各委員会活動報告】

●業務委員会

(1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 710 前月比 +20

[LBKP] \$ 価格 530~570 前月比 +10~+30

[市況動向]

[総括] 新型コロナウイルスの第三波が猛威を振るう状況下ではあるが、パルプ市況についてはNBKP、LBKP共に値上げ基調となっている。衛生用品向けを中心に需要は堅調に推移する一方で、供給は海上コンテナ不足の深刻化に伴う本船遅延により不安定な状況となっている。また海上運賃も高騰しており、このような要因が市況の強含み傾向に拍車をかけている。

〈NBKP〉 秋季に行われたサプライヤーの定期休転を契機に供給タイトな状況が続いている中、サプライヤーは12月も値上げを発表。中国で

は直近の強含み傾向を鑑み、実際の使用量以上に発注をする投機的な取引も散見されており、NBKP市況は急激な強含み傾向となりつつある。この影響で、先月は値上げに反発した欧米ユーザーも値上げを飲まざるを得ない状況となり、結果的に主要マーケットにおいて値上げが実施された。日本向けについても中国の市況動向を反映し12月積は\$20アップにて決着、更に1月積についても値上げが実施される見込みとなっている。

〈LBKP〉 先行して値上げがされているNBKPとの価格差から、中国では代替品としてLBKPの需要も増え始め、更に2021年度古紙輸入ライセンス発給がストップしたことから、古紙代替としての需要も増え、需給バランスがタイトな状態となった。結果的に12月価格は主要マーケットにおいて値上げで決着し、日本向け12月積価格についても、概ね値上げで決着となった。1月以降についても、依然としてNBKPとの価格差が開いていること、更にコンテナ不足により海上運賃が高騰していることから、サプライヤーにとっては値上げを実施しやすい環境下にあるため、暫く強含み傾向で推移するものと考えられる。

(2) 上物市況報告

[白板向け] 製品需要が高まる時期であるが、コロナ起因による経済活動の鈍化で大きく長い低迷が続いている。しばらく低迷継続になるか、シュリンクしてスタンダードとなる可能性もある。

[家庭紙向け] 瞬間的に需要が入るも全体を通すと例年と比べて弱い。生産は好調とは言えないが、使用する古紙の発生減が顕著、一方で洋紙系原料からの流入もあるため低位でバランスしている感がある。緊急事態宣言の発出により買いだめ特需も起こり得るため、不透明感が強い。

[総括] コロナショックにより紙離れに拍車がかかっており(以下統計数値参照)、特に洋紙に関してはコロナ前の状況には戻らないと推測

される。

〈主要品種の国内出荷〉

〔新聞用紙〕 前年同月比 9.2% 減 (38 ヶ月連続の減少)

〔印刷情報用紙〕 同 9.4% 減 (17 ヶ月連続の減少)

〔衛生用紙〕 同 7.5% 増 (2 ヶ月連続の増加) トイレット・ティッシュ・タオルペーパーともに増加

〔段ボール原紙〕 同 1.1% 増 (15 ヶ月ぶりの増加) ※輸出は 53.6% 増で 13 ヶ月連続の増加

〔白板紙〕 同 5.8% 減 (17 ヶ月連続の減少)

2020 年の紙・板紙国内出荷量は 2019 年対比 9.9% 減少した。前年実績を下回るのは 7 年連続。新型コロナウイルス感染拡大の影響で全品種と需要が落ち込んだ。

コロナ禍により全国各地でイベントの開催が自粛され、チラシなど印刷物に使う塗工紙の荷動きが同 22.3% 減と低迷した。在宅勤務の広がりでもオフィスでの紙需要も大きく減少し、コピー用紙などの情報用紙も同 14.5% 減と不振。段ボール原紙も産業活動の停滞で電気・機械器具向けが不振だったことに加えて、外出自粛を背景に飲料と業務用食品向けも低迷し、同 3.7% の減となった。

次回の三紙会は【2 月度については開催未定】とする。活動内容の予定は以下の通り。

- 裾物三品仕入平均単価報告
- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会活動報告

2 月 度 定 例 会

幹 事：村梶 純平・(株)國光

報告者：井出 一之・井出紙業(株)

※令和 3 年 2 月度の定例会は、緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、資料配布のみ

【令和 3 年 1 月

裾物主要三品仕入実績報告 (35 社)】

〔段ボール〕 前月比 85.3% 前年比 99.1%

〔新聞〕 前月比 84.2% 前年比 89.1%

〔雑誌〕 前月比 86.1% 前年比 90.6%

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

〈平均単価〉 段ボール…6.04 円、新聞…8.09 円、雑誌…2.95 円

【各委員会活動報告】

●業務委員会

(1) パルプ市況報告

〔NBKP〕 \$ 価格 760 前月比 +50

〔LBKP〕 \$ 価格 540~620 前月比 +10~+50

〔市況動向〕

〈NBKP〉 昨秋から強含み傾向となった NBKP 市況だが、今年に入り強含み傾向が更に強まっている。前述の通り、一部の中国ユーザーによる発注増などにより需要は旺盛な一方、供給側は船積み遅れ等の影響でスケジュール通りに貨物が届かず、需給バランスが非常にタイトな状態となっている。この結果、1 月価格は主要マーケットにおいて値上げで決着し、日本向け 1 月積価格についても前月比 \$ 50 アップで決着した。2 月以降についてもパルプ市況の強含み傾向は緩む気配がなく、更なる値上げが予想されている。

〈LBKP〉 月の市況は、サプライヤーが海上運賃の高騰を理由に主要マーケット向けで値上げを発表。ユーザー側としては、価格差が開いている NBKP の代替需要や、中国における古紙輸入ライセンス発行停止による古紙の代替需要、世界的に家庭紙・衛生用品向けの需要が堅調であるため、値上げを受け入れざるを得ない状況となっていることから、結果的に 1 月価格は日本を含む主要マーケットで前月比値上げにて決着。しかし、1 月の値上げ実施後でも NBKP との価格差は依然として大き

く開いていることから、2月においてもサプライヤーは値上げを実施するものと見込まれている。

(2) 上物市況報告

[白板向け] 製品需要が高まる時期であるが、コロナ起因による経済活動の鈍化で大きく長い低迷が続いている。しばらく低迷継続になるか、シュリンクしてスタンダードとなる可能性もある。

[家庭紙向け] 瞬間的に需要が入るも全体を通すと例年の冬需よりは弱い。製品の売れ行きが好調とは言えないが、ここに来て発生減が顕著にでており、原料不足の可能性が考えられる。緊急事態宣言の発令により、スーパーなどの店頭品と業務用ロールで明暗が分かれている。

[総括] 中国の景気浮揚策と古紙輸入停止の影響でパルプ価格が徐々に上がり始めている。今後コロナの感染状況次第ではあるが、外販パルプの好調が続けば古紙単価にも影響し始める可能性がある。

〈主要品種の国内出荷〉

[新聞用紙] 前年同月比 13.5%減 (39ヶ月連続の減少)

[印刷情報用紙] 同 8.7%減 (18ヶ月連続の減少)

[衛生用紙] 同 9.5%増 (3ヶ月連続の増加) トイレット・ティッシュ・タオルペーパーともに増加

[段ボール原紙] 同 1.2%増 (2ヶ月連続の増加) ※輸出は 48.0%増で 14ヶ月連続の増加

[白板紙] 同 5.4%減 (18ヶ月連続の減少)

●研究委員会

「新聞・チラシ重量調査 (3月度)」の実施協力依頼

●財務委員会

「季節変動係数」の資料作成協力依頼

次回の三紙会は【3月22日(月)15時30分～】とする。活動内容の予定は以下の通り。

- 裾物三品仕入平均単価報告
- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会活動報告

新聞雑誌選別、さらに革新。

紐切装置付選別コンベयरライン

ヤードスペースに合わせ、自由にレイアウト。

営業品目

- 各種破袋装置
- 古紙梱包機投入用コンベयर
- 空カン・空ビン選別コンベयरライン
- 各種シュレッダー投入用コンベयर
- 再生資源産業用各種コンベयर
- 各種省力機械設計・制作



株式会社 拓己技研

〒444-0937 愛知県岡崎市島坂町字川田5番地3
TEL (0564)64-3692 FAX (0564)64-3693

デジタルロードセル式トラックスケール

高精度・低価格・短納期 5t～100t 各種計量管理システム

鎌長製衡株式会社

<http://www.kamacho.co.jp>

| | | |
|-------|---------------------|------------------|
| 本社・工場 | TEL(087)845-1111(代) | FAX(087)845-7442 |
| 東京支店 | TEL(03)3243-2080(代) | FAX(03)3243-2081 |
| 大阪支店 | TEL(06)6339-0131(代) | FAX(06)6339-0139 |
| 名古屋支店 | TEL(052)586-1451(代) | FAX(052)586-1467 |
| 九州支店 | TEL(092)281-5328(代) | FAX(092)281-3822 |
| 中四国支店 | TEL(087)845-1140(代) | FAX(087)845-7442 |

新春インタビュー

2021年の 紙類貿易を 展望する

古紙、段原紙とも アジア向け供給国としての 重みが増す日本

出典 (株紙業タイムス社発行『週刊 Future 誌』2021年1月18日号より)



日本紙類輸入組合
理事長 寺垣 毅

Q. 紙類貿易マーケットの現状をどうみているか。

寺垣 まずパッケージ分野から言うと、そこで大きなウェイトを占める段ボール原紙は中国・アジアの経済成長を背景に中期的な成長が間違いなく見込める。しかし2020年はコロナ禍による減速が避けられず、影響の濃淡が市場の明暗を分けている。早期の封じ込めに成功した中国やベトナム、巣ごもりに代表される生活様式の変化が下支えとなった米国、あるいは比較的緩やかな行動制限にとどめる日本などの影響が軽微である一方、感染拡大が続く欧州、インドネシア、インドなどは大幅なマイナス成長に陥る見込み。

印刷用紙の輸入は コロナ以前の水準には戻らない

日本国内の段ボール原紙需要をみると。20年は1～10月実績で前年対比4.3%減の722.7万t

とコロナ禍の影響を受けたものの、通販など巣ごもり需要の恩恵を受ける分野もあり、大幅なマイナスには至っていない。また、日本からの段ボール原紙メーカー輸出は同じく1～10月実績が96.4%増の71.9万tと大きく伸長。20年に生産能力を増強したメーカーを中心に、中国向け増加が寄与している。

当面の懸念材料としては海上運賃の高騰がある。コンテナ世界生産で95%以上のシェアを持つ中国において、春先の新型コロナウイルス感染拡大時にコンテナ生産を一時休止した影響が出ている。また夏場以降、中国から北米へ向かう貨物量が増大する一方、米国西海岸ではさまざまな制限からコンテナが滞留したため、アジア全域でコンテナが逼迫、それに伴い日本から東南アジア向けの海上運賃は足元で急上昇している。この状況は新造コンテナが出回る中国の春節（旧正月）前後まで続くと思われるが、これまで堅調に推移してきた段ボール原紙や古紙輸出にブレーキをかける恐れもあり、状況を注視する必要がある。

グラフィック分野では、コロナ禍により印刷・情報用紙や新聞用紙の需要減が加速する1年となった。日本についてみると、2020年1～10月の印刷・情報用紙輸入量は前年対比36%減と大きく落ち込んだ。国内出荷も同20%減と低迷しており、コロナ禍で紙の需要構造が大きく変

化したことを示唆している。外出自粛やイベントの中止などにより、新聞折込・チラシ・カタログ向けの印刷用紙需要は前年割れの状況が続く。

コロナ収束による景気回復局面においても、小売企業による販促手段の変化（紙からWEB）、人々の購買行動の変化（リアル店舗での購買からオンライン通販での購買へ）などにより、商業印刷向けの紙需要に大幅な回復は見込めない。したがって印刷用紙の輸入量が、コロナ以前の水準に戻る局面は考え難い。

一方、情報用紙の主力品種であるコピー用紙については、テレワークの浸透で国内需要の減少が見込まれるものの、輸入紙に市場で一定の存在感があり、また衛生用紙については国内における衛生意識の高まりから需要増が続くと思われるため、それぞれ比較的安定した輸入が続くだろう。

海外に目を転じると、欧米では日本と同様に印刷用紙が大幅なマイナスとなっており、2020年1～9月の需要は北米で前年比22%減、欧州でも同18%減という状況。マーケットの縮小に対応すべく2017年以降、米国では約350万t、欧州でも約300万tの生産能力が段ボール原紙への転抄も含めて削減され、需給均衡への対応が行われてきたが、さらなる生産能力の削減がアナウンスされている。

対照的に中国の紙市場は20年1～3月期に大きく落ち込んだものの、4月以降は前年比プラスに転じており、コロナを概ね抑制し回復基調に戻りつつある。他の市場と比べてマイナス幅が小さく、2020年通年の需要は7%減程度にとどまる見込み。

Q. 現在起こりつつある注目すべき変化には、どのようなものがあるか。

寺垣 まず、中国をめぐる段ボール古紙の動向。中国では経済成長に伴って玖龍、理文などの製紙大手が段ボール原紙の増設を進め、その主原料となる古紙調達量の巨大化は世界の古紙トレードを大きく変化させた。ピーク時の2016年

には段ボール古紙輸入量が1,670万tにも達し、日本の古紙市況形成にも大きな影響を及ぼしている。

だが経済発展を遂げて新たなステージに入った中国は、政府が製造業の過剰生産能力の削減、環境規制の強化策などを打ち出し、廃棄物抑制の観点から輸入古紙に関しても強力な規制を実施するようになった。2017年末より輸入ライセンスの発給を通じて段階的な数量削減に乗り出し、段ボール古紙輸入量は17年；1,510万t（前年対比10%減）⇒18年；1,290万t（同14%減）⇒19年；800万t（39%減）、そして20年1～9月が350万t（44%減）と逐年減少。20年11月には、21年1月からの古紙（固形廃棄物）輸入禁止が正式に発表された。中国国内古紙の大幅な回収増は短期的には難しいとされ、段ボール原紙、古紙パルプの輸入が増加するのは確実だ。

日本の段ボール古紙輸出量は19年が184万t（前年比7.5%減）と、中国の輸入規制による減少分を他エリア向けでカバーし切れず、国内古紙在庫の余剰化で一部地域においては回収率の低下が危惧された。しかし20年1～10月の輸出は169万t（同18.4%増）と回復。中国向け減少をベトナム、インドネシア向けなどの増加が補っている。懸念された国内古紙在庫も段ボール原紙の輸出増と相まってバランス、回収ネットワークも正常に機能している。

ASEAN や日本で活発化する 増設・転抄による段原紙の能力増

21年からの古紙輸入禁止を見据えて、中国の大手メーカーは海外の古紙パルプ工場や段ボール原紙工場の整備に積極的に取り組んできた。米国産段ボール古紙を主原料とする古紙パルプを海外で製造し、中国自工場へ輸出するビジネスが定着している（表）。

一方、ASEAN や日本でも転抄を含め段ボール原紙の能力増強を図る動きがある。域内需要の堅調な伸び、また古紙パルプのみならず原紙

として中国市場へ輸出する可能性も見据え、有力メーカーのマシン増設計画が相次ぐ。中期的には、堅調な伸長が期待される ASEAN 域内の需要増で増設分の原紙消化は進むものと考えられるが、各国のコロナ禍からの回復度合によっては一時的な需給のアンバランスから、短期的に市況が軟化する可能性も否定できない。

パッケージ関連では、脱プラスチック⇒紙化の流れが引き続き注目される。サステナビリティが重要な課題となる中、脱プラへの取組みは全世界で進展しているが、国や地域、ブランドやユーザーごとに優先ニーズが異なるため、個別に適切なソリューションを提供することが重要だ。いずれにしてもユーザーにとって、コストアップをいかに乗り切ることが一番の関心事である状況に変わりはない。

グラフィック系分野では、米国で進む印刷用紙設備の能力削減・転抄の動きに注目したい。米国印刷用紙メーカーの稼働率は20年4～6月期に6割程度まで落ち込んだが、7～9月期は8割程度まで回復。とはいえ、記録媒体の電子化に伴う印刷・情報用紙の需要減は今後も続き、在宅勤務やWEB会議の普及でデータを印刷せずにモニター上で共有する手法が浸透していることから、コロナが収束しても需要は以前の水準には戻らないだろう。

中国では政府の環境規制により印刷・情報用紙メーカーの淘汰が行われ、大手への集中が進んでいる。2020年は生産が前年比8%減、需要が同7%減といずれもマイナス。ただし20年の早い段階でコロナの抑制に成功し経済活動を再開させたことから、他のマーケットと比べてマイナス幅は小幅にとどまる。衛生用紙などの需要増を考慮すれば、紙全体の需要減は△3%程度にとどまるのではないかと。

Q. 今後の動向が注目される国や地域をランダムに挙げると？

寺垣 前述したように巨大市場の中国では、2021年から古紙輸入がゼロになる。中期的には ASEAN などへの拠点シフトによる成長鈍化が

懸念されるものの、足元ではコロナ禍からの早期回復に成功。引き続き、世界の古紙・段ボール原紙需給に与える影響は大きい。

パッケージ系、グラフィック系の双方で目が離せないのはベトナムの動向。同国の段ボール原紙需要は年間約300万t程度だが、経済成長に加えて米中貿易戦争のリスクを回避するため製造拠点をベトナムに移す動きも追い風となり、今後も有望市場であり続ける。コロナ禍の影響も相対的に軽微。周辺地域の有力製紙メーカーによる工場新增設も相次いでおり、古紙消費と原紙生産の一大拠点に成長する可能性は高い。

一方、記録媒体の電子化はベトナムでも進んでおり、グラフィック用紙の需要はほぼ頭打ちとなっている。コロナの影響で2020年の需要は前年比14%ほど減少したものの、年央には概ね抑制に成功しマイナス幅が縮小されている。衛生用紙の伸長を勘案すれば、紙全体では微減にとどまるだろう。21年以降、教科書用紙やオフィス用紙の需要が回復することで、紙全体の需要は早いうちにプラスに転じるとされる。経済成長に伴い、今後は生産地としてだけでなく、消費地としても期待できる市場になっていくに違いない。

続いてインド。2020年のインド経済はコロナ禍の影響が深刻だが、中期的には人口13億人を抱え非常に有望な成長市場である。コロナ禍以前、2019年の紙・板紙需要は1,780万tで、うち段ボール原紙を含むパッケージング用紙は910万tと半分以上を占めている。

2019年、モディ首相が2022年までに6種(カップ、ストロー、レジ袋、皿、小型PETボトル、特定の個別包装)の使い捨てプラスチックを禁止する取組みを宣言して以降、脱プラの動きも加速。すでに禁止を決定した州もあり、紙を含めた新たな代替材の潜在需要は大きい。

これに対して印刷・情報用紙の需要は2019年時点で約530万t。これまで伸長を続けてきたものの、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うロックダウンもあり、2020年は一時的に落ち込むと予想

される。学校の閉鎖が続き、多くのオフィスで在宅勤務が浸透したことにより、教育やオフィス関連の需要が低迷している。

印刷用紙の需要は2021年頃まで低調に推移すると予測されるが、オフィスや学校の再開などを通じ、いずれはコロナ前の水準まで戻ると思われる。その後、人口の増加と生活レベルの向上により中間層の拡大が続く中で、中長期的に需要がどこまで伸びるのか注視している。

中国の段ボール原紙輸入は今後も増加する

Q. そうした状況を踏まえ、向こう5年先程度の近未来予測と展望を。

寺垣 繰り返しになるが、中国の古紙輸入がゼロになることでパッケージ分野の貿易フローは今後、大きく変化していく。段ボール原紙は供給ソースの多様化を目指す中国コンバーターのニーズも手伝い、中国の輸入量がさらに増加へ向かうのは必至。中国メーカー自身の海外工場のみならず、日本・タイ・インドネシアなど段ボール原紙の設備に余力のある国が、対中輸出を増やすだろう。中でも回収量が国内消費量を上回る日本は、古紙の需給を安定させて回収システムの維持を図る必要があり、積極的に原紙輸出を拡大していくと考える。

日本の段ボール古紙は、マシンの新增設が相次ぎ、かつ経済成長を背景に段ボール市場の拡大が見込まれるASEAN、インドなどに仕向地を変えていく。段ボール原紙の輸出増とも相まって、日本では引き続き国内の古紙需給バランスが保たれるとみる。また中国では2019年12月から新たに、古紙パルプに対する輸入関税が導入されており（0⇒5%）、段ボール原紙の輸入量拡大に拍車が掛かるシナリオを後押ししている。

この中国市場を俯瞰した場合、短・中期では国内生産の段ボールが多様な製品梱包材となって輸出され、古紙となって還流していた従来の潮流が、第三国を迂回して古紙パルプあるいは

段ボール原紙に姿を変えて輸入される、という貿易フローに生まれ変わる。一方、中・長期では、輸出主体の経済成長から内需牽引型経済へのシフトによる国内古紙回収量（発生量）の増加などにより、国内の循環率が増える先進国型に変貌していくと考えられる。

これに伴いグラフィック用紙分野でも、量から質への変化が生じるだろう。従来の人口増を基調とする量的成長戦略から、中間所得層の増加による需要形態の変化に応じた質的成長戦略を描いたプレイヤーが勝ち抜いていくと予想する。したがって生活環境の向上に応じて拡大する衛生用紙、教育関連向けで伸長する非塗工紙など比較的安定した需要に支えられる分野は、中期的に堅調に推移すると思われる。

一方、中国の白板紙市場では古紙不足を背景にコートボールの生産量が減少、パルプ原料主体のアイボリーボードとの逆転現象が生じた。すなわち2019年の生産量はアイボリーボードが7.9%増の1,140万tと伸長したのに対し、コートボールは同12.2%減の950万tと低迷。中国では今後も、このトレンドが加速していくものと思われる。これを受けて原料面でも、19年はパルプの需要が前年から150万tほど増加した。

日本はコモディティ商材から高付加価値商材の貿易へ転換すべき

このように中国の古紙輸入規制は、目先の市販パルプ需要にはプラスに作用。中国ではこのところ紙・パルプ一貫生産計画のアナウンスが相次いでおり、すべて実現するかどうかは疑問だが、一貫化が計画通りに進めば製紙用輸入チップの需要も必然的に増加する見込み。主な調達ソースはベトナムと豪州だが、特にベトナムは近年、中国や日本向けのチップ輸出量を伸ばしており、2009年の220万BDTが19年には1,200万BDTと大幅に増加している。加えてFIT制度を背景とした日本のバイオマス発電所増設に伴う燃料の需要増で、ベトナムからのペレット輸出は今後ますます拡大する見込み。製

紙用チップを含めた同国の木質資源需給は、タイトになると予想される。

Q. 最後に、これからの時代に求められる日本の貿易戦略とは何だろうか？

寺垣 パッケージ分野についてみると、中国の段ボール原紙需要は日本の約5倍、またASEAN域内の総需要も日本を上回り、かつマシン増設計画が相次ぐ中で、日本国内の段ボール原紙・古紙市況も両エリアの影響を受けることが必定の時代となってきた。

段ボール製品は物流を支える不可欠の資材で、日本においては早くから古紙回収⇒原紙生産⇒段ボール製造⇒最終顧客に至るリサイクルシステムが確立された、サステナブルな商品である。過去、業界の過当競争体質、原料・原紙双方における需給バランスの崩れなどから安定した収益確保もままならなかったが、業界の再編・淘汰を経て今日に至っている。中国・ASEAN地域における需給バランスの影響を受けながらも、日本国内の優れたリサイクルシステムを古紙、原紙、段ボール、エンドユーザーの四者一体で堅持していくことが大切と考える。

今後、中国の段ボール原紙輸入が急増する可能性や、ASEAN域内での設備能力増強に伴い古紙消費が拡大していくトレンドを考え合わせると、日本は古紙・原紙両面での供給国としてその重要性が増す。輸出対応の古紙・原紙を中国・ASEANの国際市況に準じた柔軟な価格で供給することも含め、従来以上に海外マーケットを重視し、日本国内のリサイクルシステムを維持していく必要があるのではないか。

一方、コロナ禍の影響で日本国内の紙の需要構造は大きく変化し、今後の収束による景気回復局面においても、紙の輸入量が以前の水準に戻ることは想定し難い。中でも輸入印刷用紙については、国内メーカーによる生産能力の追加削減や、衛生用紙など他品種への転抄が進む際に一時的に生じる需給ギャップを埋める程度の数量にとどまり、その存在感は次第に薄れていくだろう。これに対し輸出は、海外市況が回復

する局面においての国内取引との採算比較、国内市場の縮減下にあっても一定の稼働率を確保する必要性、さらに黒液燃焼によるバイオマス発電で売電収益を得る製紙メーカーでは、パルプ生産量の維持という観点も鑑みて対応方針を見極めていくことになると思われる。

印刷・情報用紙の輸出では一般印刷用途にとどまらない産業系特殊用途（ラベルやパッケージほか）など、数量面・価格面で安定した取引の重要性が一段と高まるだろう。日本のメーカーが持続的成長を実現するためには、国内外の需要構造の変化に合わせた生産設備の廃棄や転抄を進め、今後も一定量の輸出取引を継続することによって競争力を維持拡大していく必要があると考える。

米国のバイデン新政権によって国際協調体制の回復が見込まれる中、脱プラ・減プラの潮流はより速くなると予想され、紙以外の素材も含めた環境対応商品に対するニーズがパッケージ用途を中心に高まりつつある。こうした環境対応商品の開発は、各国各様の状況に即した独自の技術や素材をベースに行われ、付加価値の高い商材になる。したがって日本としては、印刷用紙のようなコモデティ商材の貿易から、環境対応商品のような付加価値の高い商材を中心とした貿易構造に転換していく必要があり、わが国ならではの技術を生かした商品開発による貿易の拡大が期待される。

最後に、日本政府が2050年のカーボンニュートラルをコミットしたことを受け、各産業界においてCO₂排出削減へのさらなる取組みが求められる中、エネルギー消費量の多い製紙業界においても事業活動に伴うCO₂排出削減への対応は避けて通れない重要課題となる。黒液を最大限に有効活用するほか、CO₂フリーの再生可能エネルギー調達やガス・バイオマスへの燃料転換、将来的にはCO₂フリーアンモニア・水素などの新エネルギー技術開発に応じた、最適な対応策の検討が望まれる。

表. ASEAN 地域における古紙パルプ、段ボール原紙設備の増設

| エリア | メーカー | 年産能力(万t) | 所在地 | 稼働時期 |
|--------|---------------|-----------------------------------|-----------|---------|
| ベトナム | 正隆紙業 | 中芯 30 | ビンズオン省 | 2018年7月 |
| | 理文造紙 | ライナー&中芯(マシン2台) (白板紙を生産との現地情報も) | ハウザン省 | 2019年後半 |
| | Kraft of Asia | ライナー 35 | バリアブントウ省 | 20年度下期 |
| | 玖龍紙業 | (計画延期中) | ハイフォン | 未定 |
| | 金田紙業 | 不明 | ハイフォン | 未定 |
| マレーシア | MUDA | ライナー&中芯 27(マシン2台) | カジャン | 2018年下期 |
| | GSPP | ライナー&中芯 45(マシン3台) | セランゴール州 | 2021年下期 |
| | 景興紙業 | 古紙パルプ 80、段原紙 60 | セランゴール州 | 2021年中 |
| | 理文造紙 | 古紙パルプ 55、段原紙 70 | セランゴール州 | 2020年下期 |
| | 玖龍紙業 | 古紙パルプ 48、段原紙 55 | バパン州 | 未定 |
| インドネシア | APP | 印刷用紙からの転抄 85 | 既存マシン 3台 | 2020年中 |
| | 理文造紙 | 古紙パルプ 34 | リアウ州バタム島 | 2020年上期 |
| フィリピン | SCG | 段ボール原紙 22(マシン3台) | ブラカン | 2021年下期 |
| ラオス | 太陽紙業 | 合計 80 | サンワンナケート県 | 2019年上期 |
| 日本 | 王子製紙 | 転抄(新聞用紙⇒段原紙) 22 | 苫小牧 N-5 | 2021年下期 |
| | 大王製紙 | 転抄(印刷用紙⇒段原紙) 30 | 三島 N-7 | 2020年5月 |
| | 北越 Corp. | 転抄(印刷用紙⇒中芯) 13 | 新潟 MC6 | 2020年春 |

寺垣 毅 (てらがき・つよし)

1965(昭和40)年2月20日生まれ/88年3月 神戸大学経済学部卒業。同年4月 丸紅入社、2013年4月 紙・板紙製品部長、14年4月 産業用紙部長、16年4月 紙パルプ本部副本部長兼産業用紙部長、17年4月 紙パルプ本部副本部長、18年4月 紙パルプ本部長、19年4月 執行役員—フォレストプロダクツ本部長

省エネベーター誕生
SW770 HEシリーズ
HIGH SPEED, HIGH PRESSURE
AND ENERGY SAVING

契約電力DOWN!!
消費電力
25%
以上削減!!
消費電力DOWN!!

株式会社 昭 和
本社 〒134-0091 東京都江戸川区船堀2丁目23番21号
http://www.showa-press.co.jp 電話 03-3689-0303

WorkVision
Creating Value for The Future

お問い合わせ先
ビジネスソリューション営業第一部
営業担当: 柿崎 真吾
TEL: 03-4233-0945 FAX: 03-5463-1138
*旧社名 東芝ソリューション販売株式会社
2019年7月1日より社名変更となりました。

システムは「所有」から「利用」へ!

リサイクルシステム
クラウド版リリース

シンプルで
即戦力!

セキュリティと
災害に強い!

サーバ購入
・管理不要!

三紙会 *Tweet* 「私のスポーツ」

美濃紙業株式会社
近藤 浩 富

「ソフトボール大会」

私は、スポーツは特に続けていたというものはありません。学生時代のクラブ対抗ソフトボール大会の話です。私達は文化系で直ぐに負けてお帰りを選んでおりました、相手チームも同じ事を考えておりダラダラ試合の上ですが、2回戦まで勝ち進んでしまいました。ここまでする

と逆に負けられないと、部外者から野球経験者を募り半分メンバー交代、私はキャッチャーを務めていましたが、助人ピッチャーの球威の速さに恐怖を感じておりました。相手チームは体育会系になり、文系には負けられないと先方も部外者から人集め野球部まで投入され、お互い代理ソフトボール試合になってしまいましたが結果は相手チームの補強勝ちでした。よくここまで健闘できたなど、自分自身、楽しめたことを薄々覚えています。

株式会社小池商店
小池 茂 男

スポーツと言いますと、走る、泳ぐ、飛ぶ、蹴る、投げる、捕る、打つ要素が含まれおり、その全てが苦手な私としましては、唯一好きなのは止まっている玉を打つゴルフぐらいのものです。

30年以上前になりますが、社内の野球チームに人数不足の為出てくれと言われ仕方なく参加しましたが、何処を守ったかも覚えていません。ボールが飛んで来ればエラーかトンネル、投げれば大暴投、バットを振れば空振りばかりだったのですが、奇跡的に超低めのくそボール玉がジャストミートして外野の頭上を越えるヒットとなりました。足が遅いので1塁に行くのがや

っとでしたが。その後も超低めのボールだけはバットに当たりました。低い所にある、しかも止まっている玉を打つスポーツはこの頃から自分に向いていたのかもしれませんが。



株式会社富澤
富澤 進一

私のスポーツ!? スポーツというか柔道を小1から始めた。親父の顔を立てる形で地元荒川警察署の道場に通り始めた。嫌々ながらも不思議と中3まで続いて有段者にはなれた。調子に乗って高校で柔道部の門をたたけばプロレスラーみたいのばかりで挫折…。耳が餃子になるのも嫌で軽い気持ちでゴルフ部に入部した。関東ジュニア、世界ジュニアにエントリーするような奴らばかりで、練習させてもらえずキャディに専念する羽目に…。でもそれなりに楽しかった思い出だ。スポーツはいい。心を一つにする効果がある。ゴルフはヘボだが今でも続けている。

高校生の倅は普段なかなか絡んでくれないが、ゴルフだけは家族3人でプレーするようになり正月なんかも暇にならずに済んでいる。しかも家族の心が一つになっている…と思う。

だからスポーツはいいね!



二十一世紀の環境を守る。
信頼のパートナー。
古紙用ベラー番線。

キャリアー捲巻

コイル巻

株式会社 櫻井

http://www.kk-sakurai.com/
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-13-12
TEL 03-3803-3511
FAX 03-3807-8153

| 巻数/箱 | コイル 1巻 | コイル 1巻 | 1+1/2 1巻 | 1+1/2 1巻 |
|---------|--------|--------|----------|----------|
| #12 28% | 50 | 100 | 500 | 1,000 |
| #10 32% | 50 | 100 | 500 | 1,000 |
| #8 40% | 50 | 100 | 500 | 1,000 |

◎かな環境を
ワンダフル21世紀

- ・最良の品質
- ・豊富な在庫
- ・万全なサービス

ベラー番線

最良の品質・防錆OK
—トラブル、ロスが少ない—
50K・100K・500K・1000K

坂野興業株式会社

東京本社 TEL03-3718-7311 FAX03-3724-8170
浦安営業所 TEL0473-54-6531 FAX0473-51-5201
静岡営業所 TEL054-624-1101 FAX054-624-6704



編 集 後 記

春が来ました。卒業式、入学式は規模を縮小、旅行、飲み会は自粛中。穏やかな春になりました。

今、私の会社ではデジタル化するために勉強会を開催しています。デジタル化には順番があ

って、まずエクセル(表計算ソフト)分析から始めます。試しにヒストグラム(度数分布)を作ることにしたのですが、上手にできませんでした。

後日、社員から子供が中学校数学で、エクセルを使ったヒス

トグラム分析を学んでいることを知りました。「エクセルできない、おじさん、お婆さんは、やばい」。

初めてデジタル化による危機を感じた時でした。

(編集人 斎藤大介)

(公財)古紙再生促進センター全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2020

応募総数：2,899 点 (ポスター部門 1,772 点)

ポスター小学生部門 金賞

杉並区立浜田山小学校 4年

石川 連也

「もう一度 かがやける
リサイクルステージへ」



ポスター中学生部門 金賞



十文字中学校 1年

木村 柚香

「古紙から美しい未来へ」

段ボールリサイクル協議会
会長賞 特別金賞



岩国市立周東中学校 1年

村岡 愛梨

「リサイクルできる「古紙」」

令和3年度



おまもり

安全神

事故や厄災から守るといわれる神様で
人間に化けて人々の生活を見守っている

アマビエ

疫病・豊作を預言するといわれる
日本古来から伝わる妖怪



全国製紙原料商工組合連合会